

平成30年度 学校だより



平成31年1月24日(木)
御前崎市立第一小学校

学校教育目標

花いっぱい 自分 友だち 御一小

E-mail:

No. 8

onichi@ed.city.omaezaki.shizuoka.jp

感謝の節 「自分からありがとう」

平成31年のし年が始まりました。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。12月の終業式はインフルエンザ流行のため体育館に一堂に会することができませんでした。始業式には、体育館中に響く子どもたちの元気なあいさつと歌声、笑顔が見られ、「御一小のマンパワーのすばらしさ」を感じました。



3学期は、本年度最後の節「感謝の花」節です。互いの成長を認め合い励まし合うとともに、自分の成長を支えてくれた人、もの、ことに感謝の思いを表す態度を育てる一年間のまとめの節です。

「感謝」は、特別なときにだけするものではなく、日頃から言葉に表すことが大切だと思います。「ありがとう」の言葉を誰かから掛けられたとき、うれしくならない人はいません。また、自分が伝えた相手の喜ぶ顔を見て、うれしく思わない人もいないでしょう。だからこそ、「ありがとう」が自分から先に言えることは、相手も自分も幸せにするのです。御一小全体に「ありがとう」の空気をみんなで流していきたいと考えます。

どうぞ御家庭でも、たくさんの「ありがとう」を子どもたちに掛けていただきたいと思えます。こうした周りの大人の声かけによって、子どもたちは、周りの人から認められた喜びを感じ、自分は大切な存在であることに気づきます。そして、掛けられた言葉をまねて、他の人にも掛けようとする。その人の喜びを知って、また、他の人にも声を掛ける。それらが積み重なって、自分は周りの人を幸せにする大切な存在であり、また、周りの人も自分と同じように大切な存在であることを理解していきます。これが、自己存在感の高まりです。御一小の子どもたちにこの自己肯定感を持たせたい。周りの大人の「ありがとう」の言葉で、子どもたちの自己肯定感を高めていきましょう。そして、それは、必ず、子どもの幸せとともに周りの大人の幸せにつながっていきます。

「自分から ありがとう」を、御一小学区に住むみなさんが、子どもたちのため、ご自分のために進めてくださることを願っています。



御一小から、小高い丘の上に建つ『お不動さん』の社が見えます。お不動さんは、『不動明王』といい、厄難除災の仏様です。災難を砕いて魔を取り除き、苦難に立ち向かう勇気や、迷いを断ち切る力を与えてくださるのだそうです。そして、誰一人として見捨てない強い心持ちが、厳しい表情に表れているのだそうです。御一小からは社の後側が見えますが、お不動さんの目は、あらゆるところを見ることができるのだと言われますから、きっと、御一小の子どもたちや職員を守ってくださっているのだと思います。1月3日に感謝の気持ちを込めて、お不動さんにお参りに行きました。きれいに掃除がされていて、水仙が咲き誇り、遠州灘を望むすばらしい風景が広がっていました。穏やかな午後、すがすがしさを覚えました。

(校長 増田久美子)

